



▲寄贈された子持中学校
校歌銘板の前で

今年も、市内23校で小・中学校の卒業式が行われました。私は、子持中学校、古巻小学校の卒業式に出席をしました。

3年間続いたコロナ禍で、子どもたちは学生生活の大半を不自由な中で過ごしました。臨時休校、分散登校、部活動の練習制限、対外試合や校外学習の中止、給食時の黙食、毎日の検温や消

こんにちは!!

市長です

Vol.65

「校歌」

毒作業：数え上げれば切りがない程、多くの制約を受けてきました。しかし、そんな中でもできることを探り、我慢に我慢を重ね、皆で力を合わせて困難を乗り越えてきました。

マスクの着用も自己判断になり、ようやく卒業式ではマスクを外しての入・退場、校歌の斉唱などもできるようになりました。

校歌といえば、先日、子持中学校を45年前に卒業した人が、母校に恩返しをしたいと、校歌の銘板を寄付してくれました。卒業式で歌う校歌は、共に学んだ同級生との最後の合唱です。いくつになっても、誰もが覚えている場面の一つです。

校歌は、人生でさまざまな困難に向かったとき、必ず勇気を与えてくれます。私は、子持中学校の卒業式での祝辞の最後に、校歌の最終フレーズ「今奮い立つ未来の子」を歌い、子どもたちにエールを送りました。

春になり、それぞれの新しい生活がスタートします。皆が校歌を胸に、勇気と希望を持って前に進んでいてほしいと思います。